

URUSHI ふしぎ物語

—列島の 漆文化史を 探る—

特別講演会



National Museum of Japanese History
グスタフ三世肖像蒔絵プラケット
(国立歴史民俗博物館)

9月30日(土) 午後2時より

講師：日高 薫 (国立歴史民俗博物館教授)

浦添市美術館
URASOE ART MUSEUM



故事人物蒔絵螺鈿瓶子 (国立歴史民俗博物館)

会場：美術館講堂 参加無料

電話 098 - 879-3219



日高 薫

国立歴史民俗博物館研究部教授。博士(文学)(東京大学・2008年)。専門分野は蒔絵を中心とした漆工芸史。

平成25年度から27年度にかけて国立歴史民俗博物館がおこなった共同研究(基盤研究・展示型)「学際的研究による漆文化史の新構築」を主宰、「URUSHI ふしぎ物語」展の展示代表者として企画立案にかかわった。

主な著書：

『日本美術のことば案内』(小学館、2003年)、『海を渡った日本漆器Ⅱ(18・19世紀)』(『日本の美術』No.427、至文堂、2001年)、『異国の表象 近世輸出漆器の創造力』(ブリュッケ、2008年、第20回国華賞受賞)など。